



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>

平成16年

7 JUL
月

No 489



【写真左から 横山議長、黛まどかさん、壽本奈都子さん（福岡県：入選者代表）、菅野村長】

おれこれ
活力あふれる
ウオコト・ライフ
いいたて

たくさんの愛が石に刻まれ永遠に

平成15年度の「愛の俳句」入選作品を石に刻んだ句碑がこのほど完成し、6月6日に村民の森あいの沢で「愛の園遊会」が開催されました。

園遊会には、俳人で「愛の俳句」選者の黛まどかさんや入選者らが招かれ、テープカットをして句碑の完成を祝いました。（記事2～3ページ）

選者の黛まどかさんや 入選者らを招き

愛の園遊会



▲句碑を眺める参加者ら

愛をテーマとする俳句を募集し、俳人の黛まどかさんによって選ばれた50句を村産の御影石に刻んで永く保存する「愛の句碑づくり事業」。平成15年度に入選した俳句の句碑がこのほど完成し、6月6日、村民の森あいの沢において、選者の黛まどかさんや入選者らを招き「愛の園遊会」が行われました。

全国から入選者とその家族ら80人あまりが参加した園遊会では、はじめに記念セレモニーが行われ、黛さん、菅野村長、横山議長、入選者で福岡県からこの園遊会に参加した壽本奈都子さんの4人がテープカットを行い、句碑の完成を祝いました。記念セレモニー後は句碑散策となり、参加者らは黛さんと記念撮影をしたり、自分の俳句が刻まれている句碑を眺めたり、あいの沢を散策したりと、思い思いに園遊会を楽し



▲交流会のようす

んでいたようです。その後は、「宿泊体験館きこり」に会場を移し、村産の食材を使った料理を囲んでの交流会が行われたほか、今回の入選作品について黛さんから総評が述べられました。



▲セレモニーであいさつする黛さん

セレモニーの中で、黛さんは句碑と「あいの沢」について次のようにあいさつされました。

石も愛も永遠

愛を表現するのは難しいこと。でも、愛は言葉や形にしないと相手に伝わりません。たくさん愛が石に刻まれ、句碑という姿で永遠に残ることはとても素晴らしいことだと思います。

新名所「愛の沢」に

「あいの沢」には、たくさん愛が刻まれていきます。これから多くの方が訪れ、愛の言葉にふれたいいただくことで、愛の新名所になっていくと確信しています。

愛の俳句が150句

今回の句碑は、「あいの沢」のイベント広場の一角に設置されました。句碑の設置場所からは、ため池やあいの浮橋が一望できます。句碑は、石の彫刻の周りに上向きに並べられたものと、その句碑を囲むように縦置きに配されたものの2種類。



▲上向きに並べられた句碑



▲縦置き型の句碑



▲のぞき穴のついたモニュメント

また、のぞき穴のついたモニュメントや石製のベンチも設置されています。

平成13年度から3カ年計画で取り組んできた「愛の句碑づくり事業」。設置された句碑の数は、今回の句碑を合わせて150になりました。

愛の園遊会

感動しています



宮木 美英子さん〔原町市〕

入選作品

オリオンの
けふ明るくて
子の忌かな

宮木さんは飯舘村白石のご出身。現在、原町市の俳句サークルの会員として活動されています。

宮木さんは今回の入選作品について「3年前に亡くした息子を詠んだ句です。黛先生に選んでいただいたことと、素晴らしい場所に句碑を建てていただいたことに感動しています」とご自分の句碑を眺めながら話していました。

愛の俳句でプロポーズ



渡邊 賢一さん（写真左）〔福島市〕

入選作品

夏祭
夫の袖に
手を添えて

今年4月に結婚された渡邊賢一さんと宏子さん（写真右）は、愛の俳句で結ばれたご夫婦です。

昨年9月、賢一さんは宏子さんに「愛の俳句が入選したら、来年の園遊会に2人で参加しよう」と誓い、入選された愛の俳句を贈ってプロポーズしたそうです。

園遊会に参加した宏子さんは「まさか本当に入選するとは思いませんでした。一緒に参加できて感激です」と少し照れながら話していました。

「あいの沢」にまた一つ愛の物語が誕生しました。